

法学論集 第1号 目次

国民主権論 —— 法人論へのアプローチ ——	木村常信	一
担保的作用としての相殺	石神兼文	三
—— 相殺予約の対外効を中心として ——		
大衆の政治意識に関する一考察 (三)	最勝寺隼人	三
—— 特に鹿児島県民の政治意識の地域的諸様相について ——		
新植民地主義の概念について	平田好成	三
ケーゼルのアストラント (二)	萩大輔	三